

2024年度水・地域イノベーション財団成果発表会

都市部貧困層コミュニティにおける  
水・衛生設備管理能力の向上

日本水循環文化研究協会

2024年7月24日（水）



## 活動のきっかけ

前回のプロジェクト終了後、設置した設備はどうなっていたか



# 疑問

なぜ支援した設備 [共有資源] が使われていないのだろうか  
衛生環境改善の必要性を理解してもらい、管理方法も決定したにもかかわらず、なぜ我々が期待した結果にはならなかったのだろうか

我々は、さらにはこれまでの支援事業は何か間違っていたのだろうか？



# 活動内容

## 【活動 1】

共有資源管理状況の把握および課題抽出  
[2023年6～9月]



活動 1

## 【活動 2】

コミュニティの自立的な共有資源管理のための、コミュニティ・支援者双方の役割についての検討  
[2024年9～3月]



活動 2

## 【活動 3】

自立的な意思決定を学ぶ：ブックレット・動画制作  
[2023年10～3月]



活動 3

# 【活動1】設備管理への阻害要因の把握および課題抽出：コミュニティへのインタビューおよび現状視察

## ■ トイレ内給水設備（10か所）⇒正常な状態1か所

使用停止（水漏れ、ポンプ作動時に井戸が使えなくなる不便さ）・稼働停止（乾季の水の枯渇によりモーターが故障）・盗難・盗難防止のため個人宅へ移動

## ■ 手洗い設備（11か所）⇒正常な状態2か所

故障、部品の紛失などにより使用されていない

## ■ 給水設備（3か所）⇒いずれも正常な状態

管理担当の住民によって貯水タンクの洗浄などが定期的に行われており、費用負担もコミュニティによってなされている

## ■ 人々の行動

感染リスクの高い行動が継続され、感染リスク低減のための設備修繕が行われていない

## ■ よりよい管理のための意思決定

コミュニティリーダーらとディスカッションを行ったが、具体的な検討には至らなかった

トイレ内給水設備、手洗い設備については自立的意思決定ができていない



Toilt-4



Motor pump-4



蛇口が除去されている



ポンプの盗難

# 活動 1 から得られた知見

- コミュニティの人々は、外部支援者の提案による設備のうち、優先順位が高い共有資源については自立的管理を行っている
- しかし、優先順位が低い共有資源については、提案を受け入れるかどうかや、管理についての自立的意思決定の能力不足があった
- コミュニティの人々が自立的、主体的な意思決定を可能にするスキルを学ぶことにより、共有資源についても主体的に意思決定することが可能となり、共有資源は持続可能なものとなるだろう
- もし、コミュニティの人々による意思決定が適切になされれば、コミュニティの人々に「自分は共有資源の所有者である」という意識が醸成されるだろう

自立的意思決定の能力を伸ばすには、

コミュニティ・支援者双方にどのような役割が求められるのか？ [活動 2]  
能力習得のために効果的な介入方法はなにか？ [活動 3]

## 【活動2】コミュニティの自立的な共有資源管理のためのコミュニティ・支援者双方の役割についての検討

- **コミュニティ側の役割とは：コミュニティリーダーグループとのディスカッション**：自分たちが自立的に管理していくことにはどのような意味があるのか、そのためには自分たちは何をすべきかを検討

一部のリーダーには、**自立的管理の重要性を理解する発言がみられたが、リーダーグループへの浸透には至らなかった**

- **支援者側の役割とは：ラウンドテーブルセッションの開催**：本会の活動報告をもとに、なぜ提供された設備が維持されないのか、当事者の意思決定のために支援者ができることについてディスカッションを行った

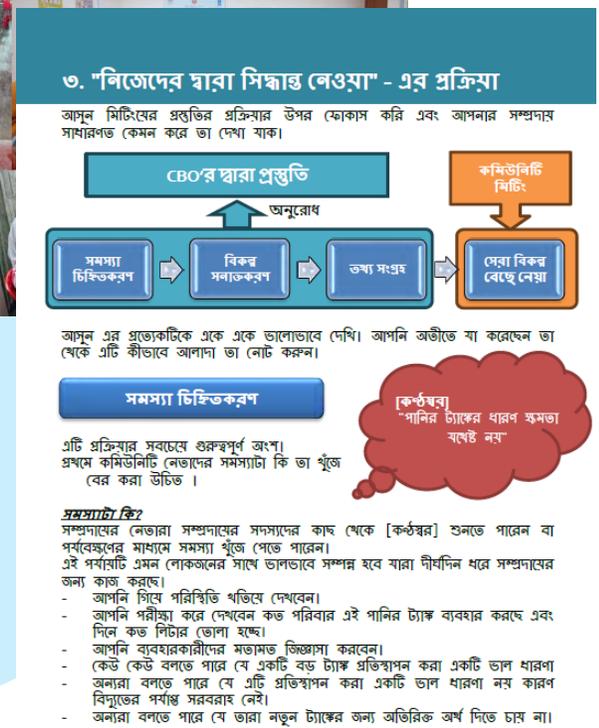
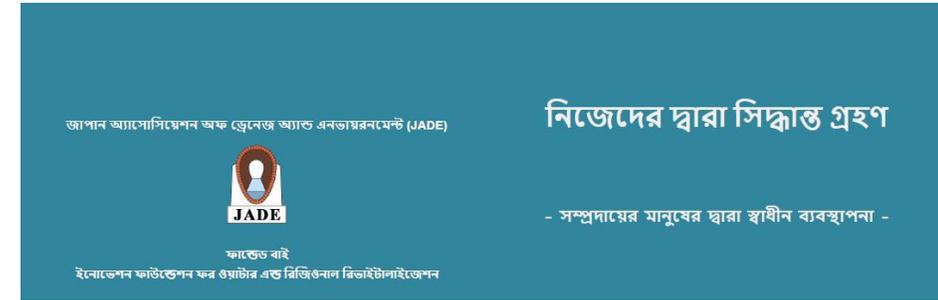
**総括として本会理事長（リモート参加）より、コミュニティの自立的管理によって、持続的な衛生環境の構築に至るプロセス、およびコミュニティ・支援者双方の役割について解説がなされ、改めてコミュニティ主体の管理組織の重要性が強調された**



地域で活動するNGO、有識者を交えたラウンドテーブル  
[2024年3月開催]

# 【活動3】 自立的意意思決定を学ぶ：ブックレット・動画制作

- コミュニティの人々が意思決定について基本的な考え方、流れを視覚的・直感的に学べる教材
- ブックレットは、英語版、ベンガル語版を製作し、英語版はNGOや支援者へ、ベンガル語版はコミュニティの人々へ配布
- ブックレットについては本会ホームページ、ブログにおいて紹介、動画はYou tubeにアップロードし、本会ホームページからのリンクを設定



ブックレット  
"What do we do?"  
ベンガル語版

## 今回の活動で得られた課題への取り組み

2024年度地球環境基金助成

# 「都市貧困地区における水・衛生施設の持続的管理に向けたコミュニティの能力形成」

### ■ プロジェクト上位目標

都市貧困層コミュニティにおいて、住民の衛生行動が定着し、衛生的な生活環境が持続可能となる

### ■ 上位目標に対するアウトカム

- 1) 対象コミュニティにおいて、水・衛生施設の故障頻度が低減するなど機能が維持され、コミュニティ住民に衛生行動が定着
- 2) 対象コミュニティにおいて、衛生的な生活環境の持続を担うコミュニティ組織が、故障対応、設備更新等に必要な準備を整える

### ■ 現在の活動（2024年度）

コミュニティによる意思決定に基づいて設備を導入する方針であるが、本活動により作成したBookletおよび本会が制作した動画を用いて、コミュニティ自らがアクションプランを作るためのワークショップを実施中である



対象としたコミュニティでのワークショップ  
コミュニティリーダー、トイレユーザーグループリーダーらが集まり、  
コミュニティの課題について検討 [2024年6月]

# 謝辞

本活動に助成いただきました一般財団法人  
水・地域イノベーション財団様に深く感謝  
申し上げます

Edited: March 31<sup>st</sup>, 2024

Edit: Japan Association of Drainage and Environment (JADE)

Book Design: Satoshi Takamura

Printing: Anckur Procharoni Printing Press, Khulna, Bangladesh

Funding organization: Innovation Foundation for Water and Regional  
Revitalization

